「会って話をしてみたら、ぐっと距離が縮まった」

こんな経験ありませんか。

顔を合わせて話すことは、お互いのことを知る第一歩。

もし、一人一人の距離がもっともっと近づけば、

長洲町はもっとすてきな町になりそうです。

Nagasu SPECIAL

声が届く距離でまちづくり

― 座談会をその一歩に ―

長洲中、腹栄中で開かれた「夢づくりトーク」。和やかな雰囲気の中、中逸博光町長と町の未来について意見を交わした中学生たち（長洲中）

Nagasu SPECIAL 声が届く距離でまちづくり
— 座談会をその一歩に —

座談会の今

座談会の開催 校区から行政区に

「町民の皆さんに町政を身近に感じてもらいたい。意見や要望などの声を積極的に取り入れていきたい」と昨年度スタートした「活力創出トーク」。このトークは、中逸博光町長、大山真理子副町長や今村義隆教育長が地域に出向き、町民の皆さんと意見を交わす住民座談会です。

昨年度は、長洲、清里、六栄、腹赤の4校区で7月、10月、2月の3回、午後7時から実施し、延べ約500人が参加しました。

しかし、回を追うごとに参加者は少しずつ減り、「この時間だと行くのが難しい」「もっと近くで参加できたら」などの声も聞かれるようになりました。

そこで町は、本年度から行政区ごとに開催できるように変更。また、行政区の状況に合わせ、時間の指定もできるようになりました。「平日の午前中であれば集まりやすい」「夜の時間であれば参加しやすい」「区の行事の時に来てもらおう」とそれぞれの行政区の希望時間に実施することで、また、会場を区の公民館や集会場など身近な場所で開催することで参加者が増え、5月から7行政区で開催した座談会の参加者は、あわせて約300人を超えています。

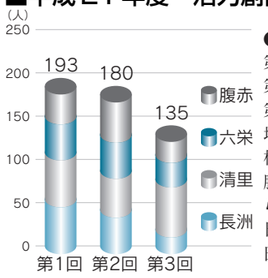
身近な意見交換で情報の共有

さまざまな意見、要望や提案が伝えられる座談会。行政区ごとの開催になったことで「○○線（道路）のこの部分が危ない」「○○の草が茂っている」など、より身近な意見が交換されるようになりました。

今年4月から赤崎区の区長を務めている牧野正幸さんは「まわりが区民だけで、発言しやすい雰囲気だったと思います」と8月1日に同区公民館で行った座談会を振り返ります。さらに「普段、区民が思っていることなどを把握することができました。区民同士も（意見内容を）共有できたのではないかと思います」とも。

座談会は、情報を共有することで行政と地域が、区民と区民がお互いの距離を縮めることができる一つの場になっています。

■平成21年度　活力創出トーク参加者数



●21年度の開催状況
第1回（21年7月14日～17日）
第2回（21年10月22日、23日、27日、30日）
第3回（22年1月22日、25日、26日、2月8日）
場所は、町民研修センター（長洲校区）、清里小学校（清里校区）、地域福祉センター（六栄校区）、腹赤保育所（腹赤校区）で、それぞれ午後7時から1時間30分程度行った。【第3回の清里校区のみ、日程変更のため、建浜公民館で午後1時から、梅田公民館で午後3時から2回に分けて実施。】

■平成22年度　活力創出トーク開催状況

開　催　日	行政区	場　所	参加者数
5月23日（日）午前11時～	西新町区	みんなの蔵「いしはら」	27人
6月　1日（火）午前10時～	永方区	永方公民館	36人
6月　9日（水）午後1時30分～	下本区	下本区 島津さん宅	29人
6月　9日（水）午後7時30分～	上沖洲区	上沖洲公民館	33人
7月15日（木）午後　8時～	腹赤区	腹赤公民館	33人
8月　1日（日）午前11時30分～	清源寺区	菅原神社	70人
8月　1日（日）午後1時30分～	赤崎区	赤崎公民館	75人

赤崎区長
牧野　正幸さん
まきの　まさゆき

情報の共有から始まるまちづくり

赤崎区では、臨時総会に合わせて座談会の開催をお願いしました。行事に合わせて行えたことで、多くの区民が参加することができたと思います。意見は、区内のことから校区、町全体のことなど多岐にわたりましたが、わたし自身も4月に区長になったばかりで、区の人が普段、どんなことを感じているのか把握する機会にもなりました。町をつくっていくためには、行政も住民も互いに情報を共有することは大切なこと。区でも普段から『赤崎区だより』を発行し、情報の共有化に努めていますが、座談会に参加して、問題などをみんなで話し合うことで、まちづくりに参加するという意識につながったのではないかと感じています。

Photo／西新町区

座談会リポート 1

活力創出トーク（住民座談会）

5月から8月にかけて7行政区（西新町区、永方区、下本区、上沖洲区、腹赤区、清源寺区、赤崎区）で行った活力創出トーク。意見交換の内容を紹介します。（一部抜粋）

Q 国道501号は荒尾につながるということだったと思うが、いつできるのか。

A 荒尾市（竈馬場のところ）にはつながらない。平成26年度以降、荒尾市牛水の道路につながる予定で計画されている。

Q 指定ごみ袋を結びやすい形にしてもらえないか。

A 特小袋は結びやすくなっている。他の種類についても検討していきたい。

Q 瀬々柳池（ゼーナギ池）は埋めることはできないのか。

A 調査関係が必要で、簡単には埋められないようだ。考えていたよりも費用もかかるようなので、しばらく（下水道の赤字が終わるまで）は待ってほしい。環境には配慮していきたい。

Q 新幹線の開通で長洲駅には特急列車が停まらなくなると聞いている。ぜひ考えてほしい。

A 現在、JR九州本社に在来線の利便性確保について要望書を提出している。今後も関係市町と要望していきたいと考えている。

Q（永方）区内の町道認定下水道工事をした時、仮設でつくった道路を今もそのまま利用している。町道に認定し、整備してほしい。

A 道路整備にはまず、町道認定をしなければならないが、測量などを行う必要があるため予算が伴う。検討させてほしい。

Q 菜切川を「蛍の里」にできないかと考えている。何かできないだろうか。

A 水質の浄化は大切である。地域と一緒になって何かできればと思う。

Q 竹炭をつくって環境浄化ができないかと考えている。蛍も飛ぶようになる。何か助成事業はないか。

A いい取り組みと考える。何か支援できないか考えたい。

Q 長洲港に仮置きされている砂が、風向き次第では下本区へ飛んできて迷惑をしている。対応をお願いしたい。

A 県の振興局に要望している。近日中にビニールシートをかぶせて対応したいとのことだった。

Q 路線バスの利用が少ない。小型化や停留所などの見直しを進めて利用しやすいようにしてほしい。買物タクシーなどの導入も考えてほしい。

A 「長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会」を立ち上げ、どうすればもっと利用しやすくなるかを現在検討している。今後は、アンケートや実証実験などを行い、ニーズを把握していきたい。

―対応①

Q 春に行われた交通安全教室へ参加したが、参加者はわたしだけであった。やり方や周知方法を検討してほしい。

A 今後は多くの人に参加してもらえるよう工夫したい。

Q 区で「健美体操」の取り組みをはじめた。ぜひ、町からの支援をお願いしたい。

A 活力創出推進事業の中に各行政区に50万円を上限として活動を支援する事業がある。それで対応できればと考える。

Q 雇用促進住宅を町営住宅として活用できないか。

A 建築後約40年が経過しているため、購入して町営住宅にすることは厳しいと考えている。

Photo／永方区

Q 上沖洲区内にある海岸の堤防に木が茂っている。きちんと管理する必要があるのではないか。

A どこが管理するかを含めて、今後検討させてほしい。

Q 腹赤区内道路「浦畑・新邸線」の整備が中断しているが、今後どうなるのか。

A 東側の方から改良しているが、まだ用地の取得ができていないため進んでいない。

Q 「腹赤小・小野四郎山線」についても整備が中断している。買収ができている所だけでも整備をしてもらいたい。また、「下北口線」についても中断しているが10軒ほど住宅があり、幼稚園の送迎バスも不自由である。区の要望として文書で出していくので、対応をお願いしたい。

A 今後、対応を考えていきたい。

Q 役場職員の庁舎内でのスリッパは見苦しいと感じている。また、服装や「ひげ」についても常識的なところで対応してほしい。

A 今後、庁内の課長会議などで職員に伝えて対応していきたい。

Q 金魚の館の再開についてメドはついているのか。再開すればお金もかかるが、その費用についても見込んでいるのか。

A 再開すれば全体で1億円弱の費用がかかるが、できるだけ補助金などを活用してお金をかけないようにと考えている。後々の運営については、効率的な方法を含めて検討していきたい。

Q 中高一貫教育が玉名高校でも始まるが、各小学校にどう説明しているのか。それに対する対策、教育方針はどうなるのか。

A 平成23年度から県立玉名中学がスタートする。定員は、2クラス80人。各小学校に対しては、今後県立玉名中から玉名・荒尾で説明会が行われる予定になっている。

Q ながす未来館に洋式トイレを増やしてほしい。

A 増やす予定にしている。

―対応②

Q 古城公園の草刈りは、町で年に何回実施しているのか。草が伸びてからでなく、早めの対応をお願いしたい。

A 年2回、業者に委託して切っている。地域とも話して、早めに対応していきたい。

Q 「塩屋・赤崎線」について、赤崎公民館横のカーブ部分の危険箇所をどのように考えているか。また、「東の辻・吉野浦線」について、残りの公民館までの改良はどのように計画されているのか。相続の問題もあるので、世代が替わらないうちに早く取りかかってほしい。

A 「塩屋・赤崎線」については、平成12年度に測量設計を行っているが、その後、財政状況が悪くなりそのままである。今後計画していきたい。また、「東の辻・吉野浦線」については、残りの部分を用地買収から行っていくことになる。

Q 名石浜工業団地の遊歩道は、自転車の乗り入れや犬の散歩は禁止してある。（禁止の）看板も設置してあるが、中の方で見えにくい。入口に設置してほしい。

A 対応したい。（8月6日に禁止看板を作成し、遊歩道の出入り口付近に10枚（10カ所）設置済み）

Q 農地の環境保全事業は続くのか。後継者も少なくなっており続けてほしい。

A 19年度から5カ年の事業で、23年度までは国の事業として考えられているが、その後については不明である。

Q ふれあい箱が地域福祉センターにおいてあるが、向野郵便局の方が多くの人が利用している。見直せないか。

A 検討し、郵便局とも協議したい。

―対応③

Q （清源寺区内）納骨堂下の側溝に泥が堆積しているので、対応をお願いできないか。

A 対応したい。（8月5日、玉名地域振興局維持課により堆積物の除去作業完了）

Q 清源寺児童公園の草が繁っている。盆には孫などが帰ってくるので、遊び場を確保するため、早急に除草してほしい。

A 対応したい。（8月6日地域と公園管理委託業者で除草済み）

Q 旧腹赤保育所跡地のクスノキが大きくなっており、清掃などに大きな手間がかかるので伐採してもらいたい。

A 対応したい。（周辺の関係区に説明、伐採・剪定を含め協議した結果、9月上旬に剪定を行う予定）

活力創出トーク後に対応、実施したものを一部紹介します。

1 地域公共交通アンケート実施しました

現状やニーズの把握のため、8月に町民3,000人（無作為抽出）に対してアンケートを実施しました。

2 ながす未来館 洋式トイレが増えました

ながす未来館内のトイレ2カ所、あわせて8つのトイレが和式から洋式になりました。

3 ふれあい箱設置場所 地域福祉センターから 向野郵便局に変更しました

これまで地域福祉センターに設置していたふれあい箱の場所が、向野郵便局（ロビー奥）に変わりました。

INTERVIEW 活力創出トークに参加した人に話を聞きました。

西林　亘さん（にしばやし わたる）（腹赤区）

校区で開催されていた時は、役員などの区の代表や同じ人が参加しているという印象でした。区で行われると多くの人が参加でき、より身近な意見も発言できます。前もって資料などを回覧しておくなどもっとPRすれば、これまで来たことがない人も参加しやすいのではないかと思います。

西島　良成さん（にしじま よしなり）（永方区）

直接話すことで、行政との距離をとても近く感じました。町の財政状況は分かっています。それでも区からの要望に対して、今できることだけでもその後、対応してもらっていたことはありがたかったですね。時間も午前中だったので参加しやすかったです。高齢者はなかなか夜に出にくいですからね。

永尾　セイさん（ながお せい）（西新町区）

顔を見ながら話すことで、遠慮なく身近な意見が言いやすくなると思います。場所もいつも歩いて来ている『みんなの蔵』で行われたので、気軽に参加することができました。みんなで問題について話し合ったり、考えたりすることは、区や町のお互いの状況や事情を知るきっかけになると思います。

座談会リポート 2

夢づくりトーク

（中学生との座談会）

中学生の自由な発想や新鮮な感覚を活かした意見・提案を町政に反映させることを目的に昨年から開催している「夢づくりトーク」は、7月13日長洲中で、15日腹栄中で開かれました。このトークには、地域や将来の町のことについて考えることにより、自分たちが住む町に誇りと愛着を持ってもらいたいとの願いも込められています。

座談会に参加した両校の3年生約140人は、質問や意見などを中逸町長らに提言。まちづくりや町の未来について一緒に考えました。

（一部抜粋）

Photo／腹栄中

Q 津波などの災害に対する備えは何かしてありますか。

A 津波については、名石浜工業団地の堤防のかさ上げや、旧長洲海岸沿いの堤防へ防波戸の設置に取り組んでいます。

Q 造船や金魚と鯉の郷広場以外にも、もっとPRできる観光施設を整備してはどうですか。

A トステム（株）に大規模なメガソーラー施設の建設予定があり、金魚の館、荒尾市の万田坑、和水町の江田船山古墳などとあわせて観光ルートをつくれたらと考えています。

Q もっとバリアフリー化をすすめてほしいです。

A 町内の施設などについては、本年度に取り組むところもありますが、高齢者や身体の不自由な人のためにもバリアフリー化やユニーバーサルデザインをもっと取り入れていきたいと考えています。

Q 大分県宇佐市長洲中との交流を予算化してほしいです。

A この交流を大切にしたいと考えています。今後は、宇佐市にも予算化の検討をお願いしたいと思います。（8月23日、宇佐市を訪問）

Q ゴミが捨てられているところがあります。町では、どのような取り組みをしていますか。

A タバコの吸殻、犬の糞、川への廃棄などに対しての条例を設けていますが、罰則は設けていません。もっと啓発活動が必要だと思っています。みんなの力で長洲町を変えていかないといけません。

Q 長洲町の借金はいつできて、いつ解消するのですか。

A 借金の原因は、下水道の整備と併せて、短期間内にながす未来館や金魚の館などの施設を作ったことです。下水道の借金が一番多かった時で20億円ありました。現在は、13億円まで減らしています。平成26年度には借金がなくなる予定です。

Q 生徒数も減少しているので両中学校を統合したほうが良いのではないですか。

A 統合は、デメリットとメリットの部分を把握して、協議する必要があります。それぞれが、伝統のある学校なのできちんと考えていきたいと思っています。

Q 学校や町の図書館にもっと本が欲しいです。

A 今年からミニボートピアの基金を利用して、図書購入費を増額しています。ながす未来館の図書館、保育所、幼稚園、小学校、中学校に予算を付けていますので新しい本を買ってください。中学校には、それぞれ40万円近くの予算があります。

Photo／長洲中

Q 副町長はどうやって決まるのですか。

A（副町長）町長や町議会の議員の人たちが選挙で決まるのと違い、町長が「この人を副町長にしたい」と議会で議員の皆さんにはかり、同意を得てから決まるものです。

Q 道路が狭く、車とすれ違うのが怖いところがあります。安全な歩道を作って整備をしてほしいです。

A 現在、緊急箇所から予算をつけています。今は、危険な箇所にカーブミラーをつけたり、道路に線を舗装したりすることなどしかできませんが、下水道の借金がなくなる平成26年度以降は、公道などを中心に皆さんが安心で安全に通えるように歩道の設置などにも取り組んでいきたいと思っています。

Q どうして2学期制になったのですか。

A（教育長）現代は、国際的に活躍する人も増えてきているため、世界の水準に合わせた学力が求められています。そのためには、今の教育内容以上に、皆さんにはいろいろなことを大いに学んでいただきたいと考え、授業数を確保するために2学期制を取り入れています。

Nagasu SPECIAL

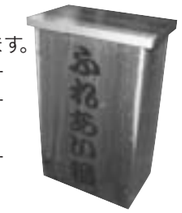
声が届く距離でまちづくり

— 座談会をその一歩に —

あなたの声をまちづくりに

一緒にまちをつくっていきませんか

ふれあい箱



下記に設置しています。

○長洲町役場ロビー
○町民研修センター
○長洲駅
○健康福祉センター
○腹赤郵便局
○向野郵便局
（※地域福祉センターから変更）

電子ふれあい箱

町の公式ホームページ（http://www.town.nagasu.lg.jp/）からも意見の投函ができます。
（専用フォームに入力し、送信してください）

活力創出トークについては

まちづくり課　企画調整係
（☎㊇3239）まで

まちは、そこに住む皆さんと一緒につくっていくものです。一人一人が住みやすい、心地よい、そんな長洲町になるために、まずは皆さんの声を届けてください。

「開かれた町政」を目指し、さまざまな情報交換の場として開催している座談会。顔を合わせて話をすることで、お互いのことを知るきっかけにしてもらえたら。このまちのことをもっと身近に感じてもらえたら。お互いが一歩踏み出せば、両者は二歩分近づくことができます。座談会を、お互いが歩み寄るその一歩にしてみませんか。

この町の未来のために—。

◎Nagasu　Special
声が届く距離でまちづくり
—座談会をその一歩に—